

熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力業務公募型プロポーザル

審 査 結 果 報 告 書

平成28年7月21日

熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力事業者選定委員会

1. 審査結果

(1) 参加表明提出者（順不同）

- ・鹿島建設株式会社
- ・清水建設株式会社

(2) 参加資格審査結果

参加表明書を提出した全ての者が参加資格を有していた。

(3) 技術提案書提出者

- ・鹿島建設株式会社
- ・清水建設株式会社

(4) 審査結果

優先交渉権者 清水建設株式会社 117.50点

(評価の内訳)

項 目	評 価 点	
	鹿島建設株式会社	清水建設株式会社
1 業務の実施方針	10.00点	8.75点
2 工程・施工計画について	32.50点	28.75点
3 事業費の縮減について	37.21点	70.00点
4 環境共生への配慮に関する提案	5.00点	2.50点
5 維持管理に関する提案	7.50点	5.00点
6 その他当該工事に係る課題抽出と その解決策の提案	5.00点	2.50点
合 計	97.21点	117.50点

2. 熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力事業者選定委員会

評価委員 (順不同・敬称略)

- 委員長 坂本 雄三 (国立研究開発法人建築研究所 理事長)
副委員長 浦江 真人 (東洋大学工学部建築学科 教授)
委員 十河 修 (国土交通省関東地方整備局営繕部 営繕調査官)
委員 中里 裕一 ((公財)日本ラグビーフットボール協会 国際部 部長)
委員 橋田 規子 (芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科 教授)
委員 深堀 清隆 (埼玉大学大学院理工学研究科 准教授)
委員 宮里 直也 (日本大学工学部建築学科 准教授)

3. 特定までの経緯

平成28年4月27日	第1回熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力事業者選定委員会
平成28年5月10日	プロポーザル説明書等公表
平成28年5月23日	参加表明書提出期限(2者提出)
平成28年5月24日	質問提出期限
平成28年5月31日	参加資格審査結果を参加者へ通知
平成28年6月6日	質問回答
平成28年6月22日	技術提案書提出期限(2者提出)
平成28年6月24日	技術提案書審査実施通知書の送付
平成28年7月6日	第2回熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力事業者選定委員会
平成28年7月21日	審査結果等の公表

4. 評価経過

(1) 第1回熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力事業者選定委員会

- ・委員長、副委員長選出
- ・熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力事業者選定プロポーザル提案審査要領策定

(2) 第2回熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力事業者選定委員会

- ・技術提案書に基づく事業者説明及び事業者に対するヒアリング
- ・審査により優先交渉権者の特定

5. 講 評

「熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力事業者選定委員会」は、各委員の専門性を生かしながら、公平かつ公正に審査を行うとともに透明性を確保するため、プロポーザル参加者名を匿名とした厳正な審査を行いました。

本プロポーザルの審査では、平成26年度に改正された公共工事の品質確保の促進に関する法律により、多様な契約方法の活用が可能となったことから、E C I方式を採用して技術支援者の選定を行いました。

選定にあたっては、E C I方式のメリットを十分活かすために、高度な技術、確実な工程管理、安全性の確保、環境への配慮、維持管理のしやすさ等の課題に対応する提案を求めると同時に、多様なコスト縮減の提案も求めることとしました。

プロポーザルの審査に当たっては、上記で求められた提案の実現性を吟味するとともに、参加者に対するヒアリングを行い、提案の意図を確認しました。

以下、個別の審査結果について講評します。

このプロポーザルの参加者は鹿島建設株式会社及び清水建設株式会社の2者でした。提出された技術提案書は両者ともに設計の内容及び各評価項目の趣旨を良く理解したものでした。

鹿島建設株式会社の提案は、業務の十分な実施体制や、工期短縮への取組み、芝への配慮、コスト管理、環境への配慮など総合的に優れており効果が期待できるものでした。

また、さらなる課題の抽出と解決手法の提案には目を見張るものがあり、全体的に完成度の高い内容となっております。

清水建設株式会社の提案は、施工計画の全般的な工夫、公園利用者への安全配慮や、人材・資材の手配など全体的に十分検討されていることに加え、事業費の縮減についても企業努力を結集したものとなっており、この工事に対する意欲の高さが伺えました。

両社ともに甲乙つけがたい内容ではありましたが、委員会としては合計得点が最も高い清水建設株式会社を優先交渉権者として選定しました。

本プロポーザルを通じ、貴重な時間を費やして真摯にご提案いただくとともに、ヒアリング時には熱心にご説明いただきました関係者の皆様に敬意を表します。

終わりに、熱心に審査いただきました各委員に感謝するとともに、今後、県と設計者及び技術支援者の3者により、実施設計を協働して策定して行くことになると思いますが、この技術提案が最大限に活かされ素晴らしい施設が完成することを期待して講評いたします。

平成28年7月7日

熊谷ラグビー場改修工事設計技術協力事業者選定委員会
委員長 坂本 雄三